



2024年9月15日 敬老会

全ての命を守る

主任司祭 フィラデルフィ・パヴォール

南山教会の信徒の皆様、九月一日から十月四日まで、全ての命を守るための月間がありました。これからも実行していくことが必要だと思います。命は人間によるものではなく、神様からいただいた賜物です。聖書は「初めに、神は天地を創造された」と言う言葉で始まります。創造されたすべてのものは「極めてよかった」と続きます。現代で使う「エコロジー」という言葉は聖書に書いてありませんが、「守る」という言葉が出ています。「主なる神は人を連れて来て、エデンの園に住ませ、人がそこを耕し、守るようにされた。」（創世記2・15）と地球を守る責任が記録されています。現代で話題となっている自然破壊は、自然だけではなく、全人類を脅かす状態となっています。汚染された大気と川、コンクリートで覆われた都市などが地球の形を変化させ、数々の生物、人間そのものにも悲劇的な影響を及ぼしています。その原因はどこにあるのでしょうか。人間のわがままな行動や無関心、悪意、不完全な法律でしょうか。もちろん、人間の行動は重要ですが、この破壊の原因はもっと根深いものなのです。創造主である神への人間の背き、原罪なのです。アダムとエバが犯した原罪は、創造主である神と神の創造の御計画に逆らい、全被造物の調和を破壊するものです。原罪を犯した人間は、罪に気付かない存在となり、被造物も人間にとって「呪われたもの」となります。土はアダムに

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
 第4土曜日 午前10時30分 子供のミサ(ナザレ館)
 火曜日 午後7時
 金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時
 ゆるしの秘跡は各主日ミサ前に受けることができます。

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ前、4時 聖体礼拝)
 日曜日 午前8時・10時・午後6時
 Sunday Mass in English 9:30 am
 (in the Marian Hall)
 ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後2時

「茨とあざみ」を生えいでさせ、アダム自身が「塵に過ぎない者」として苦勞しながら生き、死に直面するという新しい人生になります。(創世記3・17-19)しかし、人間は自然と戦うだけでしようか。そうではありません。神様によって定められた調和は原罪によって壊れましたが、人間と自然の絆は残っています。人間とつて自然は命の源であり、創造主である神の現存、偉大さと善を示すものです。十月四日は、十二世紀のアシジの聖フランチェスコの記念日となっています。聖フランチェスコは狼とエコロジの保護聖人なのです。しかし、聖フランチェスコは、エコロジの家で育ったわけではありません。自分が改心したのち、創造主である神を敬うことよって、創られたものを大切に、全被造物に神の栄光と救いを伝え始める聖人です。ローマの教会への手紙には「被造物は、神の子たちが現れるのを切に待ち望んでいます。被造物は虚無に服従していますが、それは、自分の意志によるものではなく、服従させた方の意志によるものであり、同時に希望も持っています。つまり、被造物も、いつか滅びへの隷属から解放されて、神の子供たちの栄光に輝く自由にあずかるからです。」(ローマ8・19-21)と書かれた通りです。聖フランチェスコのエコロジ活動は、キリストの福音を伝えることによります。

皆様、聖書の言葉、教会の教え、聖人の模範が沢山あると思います。それに倣って、自然環境の植物と被造物、人間同志である兄弟姉妹、そして自分自身を大切に、神に感謝して、与えてくださった命の恵みを味わい大切にしましょう。

聖体拝領についてのワンポイント

— ご聖体を受けるには —

カトリック南山教会 川原 稔

■洗礼を受けたカトリック信者

カトリック教会で洗礼を受け、

これは、聖体を受けるための基本的な条件となります。洗礼を受けることで、信者はキリスト教徒としての義務と権利を持ち、教会の秘跡を受ける資格を得ます。

■初聖体の秘跡を受けたカトリック信者

通常、「初聖体」という秘跡を通じて、初めて聖体を受けることが許されます。この秘跡は、信者が信仰と聖体の意味を理解できる年齢(子供の場合は通常七歳頃)に達した時に行われます。

■完全な状態にいること

聖体を受けるためには、「完全な状態」(すなわち、重罪を犯していない状態)であることが必要です。教会法において、重罪を犯した信者は、まず告解(ゆるしの秘跡)を受け、罪の赦しを得る必要があります。重罪の詳細についてはここでは触れず、別の機会に説明します。

■聖体拝領の適切な準備

信者は聖体を受ける前に、少なくとも一時間の断食を行うことが求められます。この断食は、食べ物と飲み物(水と薬は除く)を控えることを意味します。これにより、信者は靈的に聖体を受ける準備を整えます。

■他の条件や特例

キリスト教他教派の信者であっても、特定の条件を満たす場合、聖体を受けることが許される場合があります。例えば、キリスト教徒の配偶者や家族がカトリック教会に所属しており、その信者が教会の信仰を共有している場合などが該当します。ただし、これには通常、教区司教の許可が必要です。

以上の規定を守ることが、カトリック信者が聖体を受けるための基本的な要件とされています。

「親の七ひかり」

秋元 恭子



私たちは神の子ども、光の子イエス様は世の光

親である神の七ひかりを受けて堂々と輝きます。

その七ひかりはすごい光。

聖霊、愛、喜び、平和、みことば、真理、命・

上からの真の輝く光です。

これらの光を受けて私たち光の子らは輝きます。

「第十六回平和祈念の集い」を終えて

先月の月報の写真で様子をご覧頂けたと思います。八月四日、参加者は六教会より七十二名、名古屋友の会六名、その他五名計三十八名。その方々と共に、平和を繋ぐために学び、祈ることができました。

この集いは南山教会の多くの方の支えで行われます。特に今回は企画の段階で毎年参加されてい

井爪 光子

光

子

光

子

光

子

光

子

光

子

光

子

光

子

光

るKさんのご要望で、移住までして沖縄問題に取り組む沖縄大学客員教授の、小林武先生に講話をお願いする事に。

それも小林先生のお嬢様が南山教会所屬、交渉もスムーズで聖霊の働きを感じました。

講話は沖縄の実情と抱える問題点を話され、軍備基地等、現憲法こそ平和の備えである。アメリカの言うがままの従属的な今の日米安保条約を対等な平和条約に替える事が出来るのは主権者の私達個人であると憲法学者の立場から述べられました。

聖歌隊は新垣氏の「平和の祈り」で平和を訴え、「ドナノビスパチェム」（われらに平和をあたえたまえ）は聖歌隊の先導で全会衆で輪唱しました。朗読は、沖縄戦のとき十六歳だった少女のきくに堪えられない辛い体験と、老いた今も二度と子孫にその思いをさせたくないために、身を張って辺野古に座り込み基地建設に反対している島袋さんの話を、小林先生のお嬢さんに読んで頂きました。

沖縄と日本の平和を祈る共同祈願は、沖縄に寄り添うきつかけになった方に作って頂き、世界平和、貧困飢餓人種差別等、病氣、介護等困難を抱える人々、能登はじめ世界中の天災、環境破壊等五

つの祈願分を出席の色々な教会、団体の五名の方々に先唱して頂きました。毎回全員で唱える「アッシジの平和を求める祈り」に続く

コロナのおかげで覚えた手話による「主の平和」の祈りは、手話グループの先導が支えです。開会の辞は信徒会会長、聖書朗読はマリア会会長、閉会の辞は社会委員会会長、全行程要約筆記の方々の奉仕、教会の総力に支えられてこの集いが出来る事、ささやかでも皆で平和の道具にならせて頂けることに感謝の気持ちで一杯です。

来年は更に一人でも多くの方々との真の平和について学び考え実行していくことができることを願っています。

典礼一口メモ

香部屋の窓から 第74回

「典礼暦年」のお話 2回目

主日の再評価

教会は、キリストの復活の日に起源をもつ使徒の伝承により、過ぎ越しの神秘を八日目ごとに祝う。

この日はそれゆえにこそ、主の日すなわち主日と呼ばれている。この日、キリスト信者は一つに集まらなければならぬ。それは、神のことばを聞き、感謝の祭儀に参加して、主イエスの受難と復活と

栄光を記念し、彼らを「新たに生まれさせ、死者の中からのイエス・キリストの復活によって、生きるとした希望を与えて」（ペトロ1・3）下さる神に感謝をささげるためである。したがって、主日は、信者の信仰心に明示し、刻み込まなければならぬ根源的な祝日であり、こうして、喜びの日、仕事を休む日にもある。他の祭儀は、真にきわめて重要なものではないが、主日に優先させてはならない。それは、この日こそ典礼

暦年全体の基礎であり中核だからである。

典礼暦年の刷新

典礼暦年を改訂し、聖なる諸季節の伝統的な習慣と規律を現代の状況に応じて保存したり復興したりして、それらの本来の性格を保持し、キリストのあがないの神秘、とりわけ過ぎ越しの神秘を祝うことによつて、信者の信仰心をふさわしく養うようにしなければならぬ。地方の状況に応じた適応が必要な場合は、第39条と第40条の規定に従って行うこととする。

信者の心は、一年を通して救いの諸神秘が祝われる主の諸祝日にとくに向けられなければならない。したがって、救いの諸神秘の周期全体が相応しく想起されるため

に、季節固有の部が聖人の祝日に優先してふさわしい位置に置かれなければならない。

……センテンスの都合で、今回はここまで。続きは次回に。

さて、何だか、このパターンが続いていますが、今回は重要なお知らせというよりは、皆さんに分かち合いたいことがあります。「洗礼」という大切な秘跡があります。洗礼を受ける人、あるいは受けたばかりの人を受洗者と呼びます。本人にとつては生き方を変える意味でも重要です。成人洗礼の人にとつては人生の転機となり得ます。その時まで、そうではなかった人がわたしたちの兄弟姉妹として共同体に加わる意味でも、とても大切な秘跡です。復活徹夜祭の中で行われる洗礼式が一般的です。入門式、洗礼志願式を経て洗礼式を迎えます。他に生まれた子供の首が座る頃に幼児洗礼、病床において行われる臨終洗礼（緊急洗礼とも言います）。ヨルダン川で聖ヨハネがイエス様に洗礼を授けました。私たちは洗礼式で聖なる三位のみ名によつて額に水を注がれました。罪から洗われるとイメージすることも容易ですが、儀式である故に「洗」なので、私は先日「洗礼」のことを考えた折に「洗霊」という文字

が、かなりのインパクトで脳裏に浮かびました。私たちは祝福された水を注がれることで私たちの内に宿る霊(魂)が洗われ、救いの恵みにあずかるのでしょうか。洗礼式の中で私たちは白衣を着せられま

す。女性はベール、男性は助祭のストラをかたどった布です。キリストを着る者となることを表します。霊を洗われ内側を清め、キリストを着るのですから、すべてが新たに変わっていくこともよく理解できます。こうして一人一人が清い神の子として、新たな一歩を踏み出します。

私たちは、祈る時「わたしたち」と口を開きます。共同体で祈る時は、当然「わたしたち」です。独りで祈る時「わたし」になります。祈りの言葉は、例えば主の祈りを、わざわざ「わたしの日ごと

りしました。その中で特に楽しかったのは、中高生会の出し物の探ってゲームというゲームです。みんなで協力してできたので楽しかったです。大人のみなさんありがとうございました。

教会学校キャンプ感想文

わたなべ千夏

の糧を……」なんて読み換えたりはしません。同様に共同体でささげ

ることを前提に作られた多くの祈りの言葉も「わたしたち」と書かれています。罪のゆるしを願うのはもつとも罪深い「わたし」なのに「わたしたち」の罪をおゆるし下さいって言うのはおこがましい

の恵みによつてキリストの一つに結ばれたわたしたちは、これから心をとめてわたしたちの祈りを天の父なる神に奉げて参りましょう。

教会のキャンプで心に残ったことはキャンプファイヤーで、理由は2つあります。クイズなどの出し物を見たのとふだんの生活でできないことができたからです。

祈り、わざわざ「わたしの日ごと

た豚汁がとてもおいしかったです。夜、あおちゃんといっしょに布団でどたばたがっせんをして寝

ました。二日目は津教会でミサをしました。津教会のイエス様は木製でした。また津教会の椅子は南山教会とちがって長いですではなく、一人用のいすでした。そのミサでじ

とのか心配になりました。暗いので、みえているのか心配になりました。また、みんなで円になってハンカチ落としをしたのが楽しかったです。

た。津教会のイエス様は木製でした。また津教会の椅子は南山教会

とちがって長いですではなく、一人用のいすでした。そのミサでじ

んちやんとあおちゃんと遊びました。とても楽しかったです。来年が待ち遠しいです。

キャンプの思い出

た。また津教会の椅子は南山教会

とちがって長いですではなく、一人用のいすでした。そのミサでじ

んちやんとあおちゃんと遊びました。とても楽しかったです。来年が待ち遠しいです。

武 花凜



フオンチャン

わたしはキャンプで昔のクリスタンについてまなびました。昔のクリスタンは、せいなる心もち死にクリスタンのプライドをもっていました。しりようかんでは、ぶつぞうのようなマリアさまなどいろいろなれきしがわかりました。そのあともいろいろなけいけんができてまなべたと思います。

キャンプ楽しかった！

チャンファンニヤリン

キャンプで川遊びをやりました。その時人工雨で遊んだり、とびこんだりしました。みんなできざりしてしまいました。でもりよかんもとても楽しかったです。おふるや、レストラン、とても楽しかったです。うちはバンガローでざんねんでしたけど。きもだめしは・・・ちよつと楽しくなかったですね。まるでただ歩いてるだけでした。まあ、あのおぼけ屋しきはおもしろかったです。リーダーがおぼけ屋しきに入ったとたんおいのりをはじめるところがおもしろかったです。それをきいたとたんみんなは笑い出しそうでした。それからいろいろな大人たちはおどろかしたり、キャンプファイヤーをしてとても楽しかったです。



楽しかった川

とのべ あきと

ぼくは、川に行つて、楽しかったことや、学んだことなどもいくつかありました。たとえば学んだことは、魚などをとる時は、魚は上しか見てないからあみを下から上へやっつけていけばとれると言っていました。

夏の思い出

たけ たくま

たのしみにしてたきようかい学校のキャンプに行きました。いちばん楽しかったのは川あそびです。魚をつかまえたかったけど動きが早すぎてつかまえられませんでした。ごはんをつくるために火をおこしました。夜はキャンプファイヤーでもりあがりました。心にのこったのはきようかいの



しりよう館です。そこでは小刀やしけいの絵がありました。かみさしまをしんじた人をくるしめるじだいがあったことに悲しくなりました。

毎年楽しいキャンプですがそのあとの作文がながたなので、楽しかったことも半分になってしまいます。おわり

川あそび

村井あおぞら

私はキャンプで川あそびが一番楽しみにしていた。夏のキャンプは水あそび(川は海)と思ってるからである。一日目は姉(中高)の文化祭に行っていたので、みんなよりおそくについた。車でキャンプ場に向かって途中にリーダーからラインがきておどろいた。なんと、今日の夕方すで

に、川あそびをやっているところではないか！母は、よゆうをもって「たぶん明日かあさつてもあるよ」と言っていたが、私はそんなよゆうはない。その時は気持ちをふうじこめていたが、1日目のバーベキューの時も2日目も頭の中にこびりついていた。

しかし、なんと！3日目の昼に川あそびができることになったのだ！天にも昇る思いだった。水着に着替えて川に向かう。みんなと一緒にバンジーキャンプみたいなことをしたり、かえるを追いかけたり、自然のクライミングをした。ここでは書ききれない。



10月6日

報告・連絡事項

1. 10・11月予定確認

各月第2週に教会周辺清掃。10月20日9時から巡礼実行委員会。10月26日バザー前日準備、10月27日バザー・日英合同ミサ。11月3日13時よりヨセフ館追悼ミサ。
 2. 倉庫整理について（信徒代表・ヨセフ会・マリア会）

9月8日に倉庫整理を行った。廃棄品はコーヒーショップ奥の庭に置き、業者の見積もりを得た後、29日に中庭へ移動した。石川マテリアルが10月3日に回収。

3. 敬老会について（信徒代表・マリア会・中高生会・教会学校）

9月15日(日)10時ミサ後に病者の塗油に続き、中高生会・教会学校の歌の披露。中高生会・教会学校からのメッセージ配付。退堂時に記念品とコーヒーチケットをお渡しした。記念品の残りは子どもたちにプレゼントした。

記念品とコーヒーチケット準備の内訳(案内はがきによる出席返信者は103名)・・・美濃忠雪花の舞(5個余分含め) 486円×108個＝52,488円・コーヒーチケット200円×110枚＝22,000円
 ・中高生会、教会学校の子供たち

へのお菓子300円×35個＝10,500円
 費用合計：84,988円予算の10万円を超過する事なく収まりました。

来年は子供たちが先に歌い、塗油の秘跡を後にする方がスムーズではとの意見があった。

4. 教会美化について（信徒代表・ヨセフ会）

9月29日(日)10時ミサ前後に行なった。8時ミサ後には予定通り実施。10時ミサ中に雨が降っていたため、マリア館の窓拭きに変更する旨ミサ中のお知らせでアナウンスした。途中から天気が回復したため、外の美化も実施した。マリア館の皆様、お茶の準備を有難うございました。第二日曜日に実施する教会周辺清掃について、聖堂横にも竹ぼうきを準備する案が出たので、今後検討する。

5. 大規模修繕委員会について（営繕委員会）

9月8日に第1回の委員会を開催した。大規模修繕委員会が扱う内容と通常の営繕委員会が扱う内容について確認しました。

◎大規模修繕委員会が扱う内容は以下のとおりです。
 ・外壁塗装・防水工事。
 ・サッシ塗装と修理、香部屋雨漏り等。
 ・聖歌隊席下の支柱コンクリートのひび詳細検査と危険性の検討。

以上につき、長中期計画を立てて行うこととします。

◎営繕委員会通常業務として対応する内容は、以下のとおりで、順次行っている。

・聖歌隊席下の照明器具変更

照明器具について知識をお持ちの増子氏に一任し、照明カバー修理とLED化を検討しています。

・空調機器の耐用期限の検討

大聖堂のエアコン・いづれも何時故障してもおかしくない状態だが、個別の機器であるため、修繕資金を確保し故障時に修理・取替を行う方針です。

・マリア館通路の雨漏り・業者に依頼し原因究明を行います。

・スピーカー・アンプ等の大聖堂音響機器・スピーカー新設を検討中。営繕委員会音響担当の長谷川さんにご意見を伺ったところ、音が重なり合うことよって場所によっては聴きづらい状態になっている可能性があることが推察される為、聖堂の各所にて音を確認する必要があります。

10月17日に聖堂の各場所にて音を測定し音響の正常化を検討することになっています。

6. 教会設備に関して（営繕委員会）

・教会中庭のガス栓設置に関して信盛建設に依頼し、中庭に設置しました。今後バザーなどで、ガスを

を使用できるようにしました。費用は見積り通り一八九、七五〇円です。

・降誕節中の大聖堂の装飾灯(星)に関して信盛建設に依頼し、見積もり金額三六三、五九四円にて、待降節に間に合うように勤めていただいております。

・大聖堂の音響に関して、上記

・教会敷地の電灯に関して錆が酷くなっていた為、ペンキにて再塗装いたしました。

・教会敷地内の雑草除去・樹木の植栽に関して今後パウロ神父様に雑草除去・樹木の植栽の方法をご教授いただき、奉仕者を募り進めていきます。

皆様のご知り合いで、行っただけの方をご紹介ください。

・マリア館1階の空調の不具合に関して、各階一括管理型の空調設備の為、マリア館建設時の設置業者である三菱電機ビルソリューションズに依頼し、原因を調査していただき、工事費五二一、〇〇〇円(ガス漏れが1か所の場合)

にて見積もりをいただきました。しかしながら、ガス漏れ箇所が複数見つかった場合、ガス漏れ箇所が見つからなかった場合、ガス漏れ箇所が高所であった場合、見積り額が倍増する可能性があります。他社からも見積もり取得を検

討し、皆様のご理解と賛同をいただき進めていきたいと思ひます。

・蛍光灯など水銀を使用している照明器具の製造・販売中止の件について(2027年)

まずどの場所に蛍光灯など水銀を使用している照明器具が使用されているかを把握し、老朽化した機器はLEDに変更していく必要があります。

審議・相談事項

1. 75周年記念巡礼について(巡礼実行委員会)

二〇二五年9月初めに11日間の行程で巡礼を行う想定で準備中。現在、見積もりを依頼中。10月15日頃に費用が判明する見込みで、それを受け、10月20日9時から委員会を開催し、信徒の皆様への告知を行なっていく予定。まずは南山教会内で募集を始め、状況を見て他教会からも募集する見通し。

2. 月曜日の教会事務について(信徒代表)

信者全体集会の際に受け取ったご意見の中に、月曜日の売店業に関するご指摘があった。「勤務体制の見直しから事務の体制も見直し、売店業はしないということになったのであれば、『月曜日の売店業は休みで対応いたしかねます』等とお見えの方にお伝えすることを事務の方にご指導くださる

べきだと思ひます。また、教会へ訪れる方への周知の機会を今一度ご検討いただきたいです。一といふもの。これを受け、事務職員に是正を申し入れました。ナザレ館の扉の表示には、月曜日に売店業を行わない旨表示がされていますが、今後、教会のお知らせでも周知を図ります。また、ウェブサイトの記載がされていなかったため、アップデートしました。

3. バザーの準備について(バザー実行委員会)

食券販売が進行中。ポスター等の準備は完了。前日準備や店の配置、当日の進行について確認した。荒天時の対応について、早めの判断とお知らせの内容について確認した。

*前日26日に用意をしますので、その時にも天候についての確認はいたします。

*台風・大雨等の警報が出た時は中止とします。但し警報はいつ出るかは分かりません。

*当日27日、家を出るときに心配な人は、9時以降に教会へ電話で確認してください。*それぞれの場所での雨の程度は分かりません。大雨が降っているようであれば、交通機関に不安がある時は身を守る事が第一です。不安でしたら、バザーよりも身の安全を優先しましょう。

*小雨は決行ですが、雨が強くなってくるようでしたら、マリア館の中だけのバザーとします。

4. 納骨堂のエアコン設置について(納骨堂管理委員会)

夏の暑さへの対応と除湿のため、エアコンの導入を検討中。

5. その他

・AEDの設置場所について…鍵がかかっている香部屋に設置されているが、いつ必要になるかわからないので、香部屋以外で人がいる事務所への移動が提案され、承諾された。

各会報告

① 典礼委員会

10月27日(日) 10時日英合同ミサ

11月1日(金) 諸聖人の祭日 10時

19時

11月2日(土) 死者の日 7時のみ

※2日、3日すべての主日ミサが亡くなった南山教会の信徒、その他関係者、ヨセフ館に眠る死者のために奉げられます。

11月10日(日) 10時 七五三の祝福

11月24日(日) 10時 王であるキリスト 入門式があります

12月1日(日) 宣教地召命促進の日

例年10時ミサは神言神学院の共同

体とともに奉げています。※予定を確認中

12月8日(日) 10時ミサ後にツ

リ、馬小屋を設置します。

12月9日(月) 無原罪の聖マリア祭日 7時 19時

12月14日(土) 15日(日) 共同回心式

12月24日(火) 主の降誕 夜半のミサ 18時 20時 22時

12月25日(水) 主の降誕 日中のミサ 7時 10時

12月31日(火) 旧年感謝ミサ 10時

・讚美歌集の歌詞間違い訂正について 讚美歌集96頁「主こそわがほまれ」3番(誤)とこしえのさた(沙汰)(正)とこしえのさち(幸)であることがわかりました。讚美歌集には上からボールペンで書き換え修正済み。

② オルガン管理委員会

10月29日(火) 午前午後パイプ

オルガンの後期点検、調律を行います。マリア会の可用の大聖堂清

掃は、点検中もいつも通りです。

③ 手話の会

オンサイトの集会在、構成員のスケジュールの都合で困難であったため、オンラインのつどい

(LINE)を行った。会の新規構成員を募集するポスタ政策を通じて、

「I Love You」の手話(静止状態を生成)に描かせて、指導係にご指導いただいた。 「I Love You」にもいくつかの表現があること、日本語で「あなたを愛している」は動的な表現であることを学んだ。ポ

スタには静的表現が適している。

神言会創立150周年の祈り

命と交わりの源である三位一体の神よ、聖アーノルドヤンセンに靈感を注ぎ神言会を創立するよう促してください。感謝します。すべての先人、宣教に携わるすべての協力者に感謝いたします。

受肉したみことばイエス・キリストに結ばれた私たちは、傷ついた世界への友情と思いやりのある働きをもって、宣教する弟子として命と喜びの福音を宣べ伝えていきます。

主よ、聖霊によって私たちを新たに、希望の巡礼者としての歩みを力づけてください。新たな課題に向き合うにあたり、創造性、忠実、シドノス的な歩みの伴う応答を生み出すことができますように。

みことばの母、聖マリア、私たちが使命をまっとうすることができるよう交わりを築き、参加を促すしをもつて私たちに導いてください。暗闇を乗り越える御子の光が、私たちの心、全人類、あなたに造られたすべてのものを照らしますように。

アーメン

信者の消息

結婚

□お幸せに□

GIUSE LUONG NGOC SANG □
TERESA NGUYEN HONG NHUNG

転入

ようこそ

ヨセフ 袴田 渉 (岡山教会)
マリア・アナスタシア 袴田 玲 (岡山教会)
使途ヨハネ 袴田 茂太郎 (岡山教会)
マリア・ソフィア 袴田 千尋 (岡山教会)
ミカエル 一瀬 和信 (福山教会)

維持費納入について

維持費の袋は教会事務所にて保管しております。

事務所にて直接ご納入下さるか、以下の口座にお振込み頂くこともできます。よろしければご利用下さい。

○三菱UFJ銀行八事支店 普通預金 1737813

カトリック南山教会 維持費口

○郵便口座 00880-8-70893

カトリック南山教会

財務委員長 伊藤恭輔

2024年10月 - 11月行事予定表

	教会典礼暦	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
10月	ロザリオの月	27(日)日英合同ミサ 27(日)バザー	4(金)マリア会例会 (懇談会) 5(土)典礼委員会 6(日)小教区宣教司牧評議会 20(日)ヨセフ会班長会・エマオの会・中高生会遠足 26(土)要約筆記付きミサ 26(土)子ども部屋	6(日)宣教司牧評議会 13(日)東八事第一墓地 合同追悼ミサ 14(月)教区典礼委員会 「大人のための侍者研修」 19(土)レジオマリエ名古屋クリア 20(日)世界宣教の日献金
11月	死者の月 1(金)諸聖人の祭日 2(土)死者の日 9(土)ラテラン教会の献堂 24(日)王であるキリスト	3(日)予算審議開始 3(日)14:00納骨堂追悼ミサ(大聖堂) 10(日)子どものミサ(七五三) 24(日)9:30入門式	2(土)典礼委員会 3(日)小教区宣教司牧評議会 (金)マリア会例会 (土)子ども部屋 17(日)ヨセフ会班長会・エマオの会 23(土)要約筆記付きミサ	3(日)東八事第二墓地 合同追悼ミサ 16(土)レジオマリエ名古屋クリア 17(日)~24(日)聖書週間 17(日)城東ブロック会議